

○総務建設常任委員長（小川務君）

おはようございます。

令和 8 年 2 月 6 日及び 2 月 17 日に開催いたしました、閉会中の総務建設常任委員会についてご報告いたします。

2 月 6 日の委員会では、行政視察を検討することで協議が行われ、令和 8 年 3 月 23 日、24 日に島根県浜田市へ行政視察に行くこととなりました。

2 月 17 日の委員会では、まず、総務課から 2 点の説明がありました。

1 点目、地理空間データ連携基盤利活用事業について、本事業は、高松市が構築した共通の地図基盤を土庄町が共同利用し、町が保有する行政情報をその地図基盤に集約し、WEB アプリなどに活用しようとするもので、令和 8 年度には、公開型 GIS 及び空き家アプリの構築を予定しており、スマートフォンやパソコンから閲覧できる仕組みを構築するとの説明がありました。

委員から、活用方法、費用負担、個人情報取り扱い等について質疑があり、適切に対応していく旨の説明がありました。

次に、2 点目、土庄町消防団湊崎分団屯所の整備について、当該屯所は、老朽化が進んでいることに加え、立地上、出動時の安全面に課題があることから、地元関係者より整備要望書が提出され、移設を含めた検討を進めるとの説明がありました。

今後は、地元と協議しながら設計計画等を検討していくとのことでした。

次に、企画財政課から 2 点の説明がありました。

1 点目、町営バスの運行見直しについて、豊島シャトルバスにつきましては、観光客の回復等により現行の 1 台体制では対応が困難となることから、令和 8 年度より 2 台運行とし、運転手を 1 名増員するとともに、予備車を含めた 3 台体制とする。なお、車両購入費については、今年度の運行収入による黒字見込み分を充当するとの説明がありました。

また、四海線については、現在回送となっている区間を実車運行に切り替えるとともに、一部ダイヤを改正することにより、乗り継ぎ利便性の向上及び運行収入の増加を図るとの説明がありました。

2 点目、ユカリノ SPACE 小豆島の使用料等の改正について、郡内外問わず利用者の使用料を統一するとともに、半個室ブースをコワーキング・コラーニングスペースの一部として取り扱うこと、また、中学生・高校生・大学生の使用料を 1 日 110 円とするほか、休室日を水曜日から日曜日へ変更するとの説明がありました。これらにより、交流人口の拡大及び将来的な移住・定住の促進につなげたいとのことでした。

委員から「使用時間が平日は 19 時までだが、土日は 17 時までなので、土日の学生の利用が少ないのではないか」との質問に、執行部から中高生の利用は、

平日は16時以降が多いが、土日祝日は午前から午後、夕方までが多いとの回答がありました。

また「使用料で維持管理費が賄えるのか」との質問に使用料で賄えるまでには至っていないが、交流スペースを使っただき、多目的な利用と多世代の交流を促していきたいと考えているとの回答がありました。

次に建設課から2点の説明がありました。

1点目、沖之島離島架橋事業について、現在、取り付け道路の一部工区を施工中であり、今後、残る取り付け道路や防護柵、舗装工事等を含め、令和8年度中の完成を目指すとの説明がありました。

全体事業費は、資材及び人件費等の高騰により、約23億4200万円となる見込みで、町の実質負担は約1億6800万円とのこととなります。

また、島内道路については、緊急搬送体制の確保を優先し、狭小箇所等の小規模改良から町単独事業として進めるとのことです。

2点目、行者原住宅建替事業について、今年度、既存住宅の解体及びB棟新築工事を実施し、建物本体は完成しているとの説明がありました。

基礎工事に伴う設計変更については専決処分に対応し、令和8年度は解体、造成、道路整備工事を行い、令和9年度からC棟新築工事に着手する予定との説明がありました。

次に商工観光課から2点の説明と、2点の報告がありました。

1点目、瀬戸内国際芸術祭について、今回の芸術祭は春・夏・秋の計107日間、17会場で開催され、来場者数は約108万人と、コロナ前に迫る規模となり、来場者の約4分の1が海外から、リピーターも約46%と高い水準であった。豊島・小豆島で計約28万人が来訪し、全体の経済波及効果は、過去最大の約195億円と説明がありました。

2点目、地域雇用活性化推進事業について、厚労省事業である小豆郡地域雇用創造協議会「島ワークプロジェクト」は全国9地域のうちの1つに採択され、前回に引き続き2期目の採択となる。本事業は、事業者支援・人材育成・マッチングにより雇用創出を図るもので、1期目では161人の雇用を創出し、2期目では165人を目標としている。また、小豆郡の更なる雇用対策を図るため、香川労働局・小豆島町と雇用対策協定を締結し、若者、子育て世代、移住者、障がい者支援等を強化すると説明がありました。

次に、ベストツーリズムビレッジの認定について、令和7年10月、国連世界観光機関総会において、小豆島町と土庄町がベストツーリズムビレッジに認定された。中国・四国地方で初の認定となる。昨年度のグリーンディステーションズのシルバーアワードに続き、国際基準に沿った取り組みが着実に進み、持続可能な観光地として今後さらなる発展が期待されていると報告がありました。

最後に、訪れてみたい日本のアニメ聖地 88 について、2 月 13 日に一般社団法人アニメツーリズム協会から「訪れてみたい日本の聖地 88」に選ばれ、7 年連続でアニメの聖地として認定された。海外を含め、110 カ国から投票されることから、海外からも認められ、さらにアニメの活用したまちの活性化につなげていきたいと報告がありました。

以上で総務建設常任委員会の報告を終わります。